

はじめに

本書は「大学受験をしよう！」と決意した高校生に最初に取り組んでほしい**英文法の本**です。この1冊で入試の文法問題（4択形式で、語彙問題を除いた純粋な文法問題）でしっかりと爪痕を残せるレベル（日東駒専で7割、MARCHレベルで5割の正答率）を目指します。

いわゆる「大学入試の入門書」に分類される本ですが、従来の入門書とは決定的に違う点が2つあります。

① 読者を子ども扱いしない

入門書のトーンはフレンドリー・ハイテンション・たくさんのイラストというのが業界でよくあるパターンですが、読者はすでに高校生です。たしかに今は英語が苦手かもしれませんが、それは「部活をやっていたからかもしれない」「遊んでしまったのかもしれない」「やり方を間違えただけかもしれない」のであって、別に**理解力が弱いわけでも日本語が苦手なわけでもありません**よね。友達どうしの会話はテンポ良く進み、ドラマ・マンガの複雑なストーリーに感動しているはずです。

それなのに、教える側がいつまでも過剰にやさしくするのは、高校生の勉強をかえってジャマしたりモチベーションを下げたりするだけでしょう。本書は読者を1人の大人として扱い、無意味なフレンドリーさによる「中身の伴わないわかりやすさ」を演出するのではなく、「英語の解説」自体のわかりやすさで勝負します。

② 入試問題が解ける

入門書はどれもゼロから説明してくれますが、その分だけ到達点も低くなりがちです。でもせっかく1冊終えるからには「ある程度は入試問題が解ける」ようになりたいですね。本書はすべての章で入試問題を採用しています。選択肢を変えたり、英文を修正したりといったことは一切しておりません（要点確認として2択問題はありますが、採用した入試問題はすべて出題そのままの形です）。いくら入門書でも、甘やかされた問題ばかりに触れていると、実際の入試問題を見たときに挫折感を味わうものです。**この1冊で受験生としてある程度は戦えるレベルまで進化**することができます。

さあ、それでは始めましょう！

本書の対象読者

高校生であれば学年は問わず、高校英文法を始める高1生、受験を意識し始めた高2生、真剣に英文法に取り組みたい高3生まで使えますが、学年よりも以下のようなイヤな思いを1つでも抱えている高校生に読んでほしいと思っています。

- ☑ 「決まりだから覚えよう」という丸暗記英語がイヤ
 - しっかり理論・背景を解説するので、納得して進めていきます。
- ☑ 学校指定の文法問題集に苦労している
 - 定期テスト直前の丸暗記がなくなります。
- ☑ 受験にしか使えない文法はやりたくない
 - 資格試験 (TOEIC® テスト・英検)・英会話・CNN ニュースなどを題材とした文法の解説本も執筆した経験から、将来を見越して解説しています。